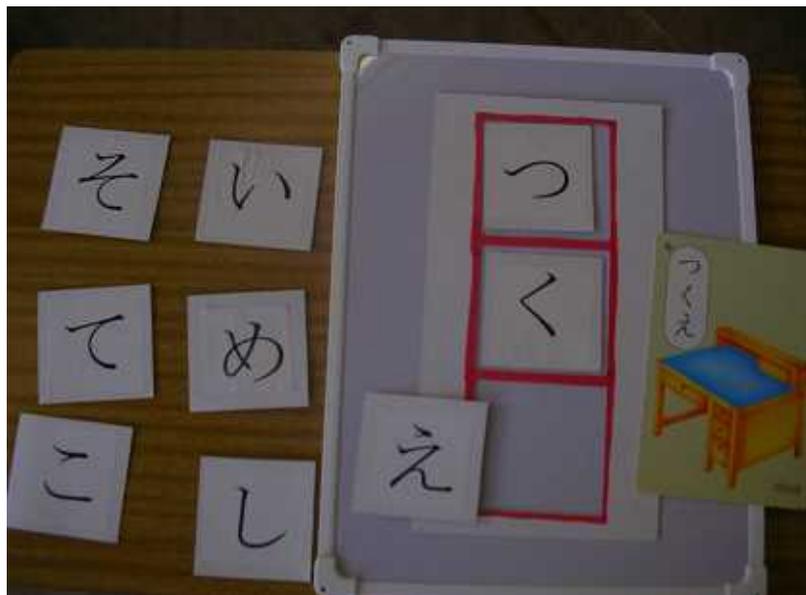


教材教具名 単語作りボード

教科(国語)



教材教具の概略(ねらいと使い方) 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

- 1 ねらい ひらがなに慣れ親しむ。ひらがなを読むことができる。
- 2 発達段階 絵が何を表しているかは理解できているがひらがなを読むことはできない。
- 3 使い方 小さなホワイトボードに枠を作り、その枠の中に磁石をくっつけた文字カードを貼って単語を作る。
ひらがな入りの絵カードを見てマッチングで単語を作る。
文字の一字だけを隠して単語を作る。
文字を全て隠し絵だけを見て単語を作る。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等(次に利用する方のために)

貼る場所を赤い枠で囲んだことでどこに貼ればいいのかすぐに理解できていた。文字を大きくして作ったこと、選択肢のひらがなを少なくしてやり始めたことで、混乱することなく、マッチングはすぐにクリアできていた。文字を一文字隠して行くと最初は戸惑っていたが、選択肢のひらがなを2, 3文字と少なくしたり、繰り返し行ったりするなかで、徐々に文字を覚えて単語を作ることができるようになっていく。最初は「て」や「め」など一文字の単語からおこなっていくと良いと思う。慣れてくると徐々に選択肢のひらがなの数を増やしていき、いずれは50音表の中から選んで単語作りができれば良いと思う。